授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅱ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	松下　美樹	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	W4-1006c				

【授業の主題】

「尊厳の保持」の視点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について学習する。
生活支援技術論Ⅰの人体の基本的学習内容を踏まえ、自立に向けた身じたくの介護を習得する。

【到達目標】

1. 自立に向けた身じたくの意義や目的を理解する。
2. 利用者の状態・状況に応じた身じたくの介助の留意点を理解する。
3. 関連職種の身じたくに関する役割や連携について理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　生活の中の身じたくを考える
第 2 回　身じたくの意義と目的
第 3 回　身じたくにおける ICF の視点とアセスメント
第 4 回　身じたくにおける介護技術とは
第 5 回　身じたくにおける介護技術　① 整容
第 6 回　身じたくにおける介護技術　② 整容行為における介護の実際
第 7 回　身じたくにおける介護技術　③ 口腔ケアと口腔体操
第 8 回　身じたくにおける介護技術　④ 口腔ケアにおける介護の実際
第 9 回　身じたくにおける介護技術　⑤ 衣服を着用する目的
第 10 回　身じたくにおける介護技術　⑥ 衣服の種類と選択及び視点
第 11 回　身じたくにおける介護技術　⑦ 衣服着脱における介護の実際
第 12 回　機能低下及び障害がある場合の衣服の着脱介護 1
第 13 回　機能低下及び障害がある場合の衣服の着脱介護 2
第 14 回　生活・社会性の拡大に向けた身じたくの自立
第 15 回　関連職種の役割と連携

【授業実施方法】

講義を基に、演習を行う。

【授業準備】

演習の基礎となる技術は、エビデンスを考え正しい技術身につけるようにする。
教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座 6　生活支援技術Ⅰ」
「最新・介護福祉士養成講座 7　生活支援技術Ⅱ」〈共に中央法規〉

【参考文献】

適宜紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験 70%、技術チェック・授業態度等 30%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

・医療法人での介護職として医療的ケアをもとに身体介護を経験
・福祉施設での介護職として認知症ケア・日常生活への支援を経験
実務経験から得た介護技術や知識を様々な場面を想定し、実践しながら技術を身につけ、それに伴う知識も習得していく。
実例を用い、個別ケアの重要性や他職種との連携の必要性を考え理解を深めていく。

【学生へのメッセージ】

対象者の個別性の理解につとめ、積極的に基本技術を習得しましょう。